

秋山財団「受領者からのメッセージ」および特別講演会のご案内

公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団では、2018年度 贈呈式式典の中で、標記のプログラムについては、一般公開いたします。

今年度の公開プログラムは、秋山財団の受領者（受領プロジェクト）の中から3組の方に「受領者からのメッセージ」として発表いただく企画と株式会社 ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー 桜田 一洋氏を講師にお招きしての特別講演会です。

秋山財団では、市民の皆様、教育関係者、学生の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

○日時：9月5日（水） 13時30分～15時30分

○会場：札幌プリンスホテル 国際館パミール 3階

（札幌市中央区南3条西12丁目 TEL011-241-1111）

○「受領者からのメッセージ」

- ・『家畜とヒトにおける生殖細胞の共通点と将来の展望』

村西 由紀 様（帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 助教）

- ・『地域と世界がつながる

-白老町での森の創造と胆振地域からのネットワークづくり-』

国松 希根太 様（飛生アートコミュニティ 代表）

- ・『未知の現象を記載する重要性』

角井 敬知 様（北海道大学大学院理学研究院 講師）

○特別講演会

- ・講師：桜田 一洋 様

（株式会社 ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー）

- ・演題：『「人工知能はなぜ人間の知性を超えられないのか」

～心で心を思うことについての科学から

Society 5.0の価値形成へ～』

○「受領者からのメッセージ」及び特別講演会は13時30分～15時30分までの、ワンセットのプログラムです。途中での入場は出来ません。

《ご予約について：必ず事前予約が必要です》

○一般公開（募集定員）：50名、無料（※先着順です。定員となり次第締め切ります）

○ご予約方法：財団事務局宛に、またはにて、お申込みください。

（※下記ご参照ください。お電話でのご予約はできませんので、ご注意ください）

○ご予約の際には、「お名前（およびフリガナ）」、「ご住所」、「お電話番号」をお知らせください。

《プログラムについて》

- ・9月5日、12時30分開場（受付は2階）、13時30分開始、自由席です。

以上

公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団事務局

〒064-0952 札幌市中央区宮の森2条11丁目6番25号

TEL：011-612-3771 FAX：011-612-3380

E-mail：office@akiyama-foundation.org

http://www.akiyama-foundation.org

《ご参考》



株式会社 ソニーコンピュータサイエンス研究所

シニアリサーチャー 桜田 一洋 様

「人工知能はなぜ人間の知性を超えられないのか」

～心で心を思うことについての科学から

Society 5.0 の価値形成へ～

- 1) ネットワークやデータビジネスの影の側面
- 2) 自己決定権のあるデータ利活用システム
- 3) 生命が織り成す実世界を計算可能な形式で表現する
- 4) 心で心を思う
- 5) 人工知能と人の知性の差異
- 6) 未来社会に向けての挑戦

略 歴

桜田 一洋 (さくらだ かずひろ)

【経歴】

- 1986年3月 大阪大学理学部生物学科卒業
- 1988年3月 大阪大学大学院理学研究科修士課程修了(小川英行教授)
- 1988年4月 協和発酵工業(株) 東京研究所 研究員
- 1991年4月 京都大学医学部研究生(中西重忠教授) 1992年7月まで
- 1993年10月 大阪大学より理学博士授与
- 1997年9月 Salk Institute 客員研究員(Fred Gage 教授) 1998年12月まで
- 2000年4月 協和発酵工業(株) 東京研究所 再生医療グループ 主任研究員
- 2004年9月 協和発酵工業(株) 退職
- 2004年10月 日本シエーリング(株) リサーチセンター センター長(2006年4月から執行役員) 兼 Schering AG, Corporate Research Management Team, Head of Research Center Japan (ドイツ、シエーリング AG 社 コポレート研究統括幹部会メンバー、日本研究部門長、SVP Class)
- 2007年1月 Schering AG 社と Bayer AG 社のドイツでの合併完了に伴い、Bayer Schering Pharma AG, Global Drug Discovery, Head of Therapeutic Research Group Regenerative Medicine (バイエル・シエーリングファーマ社グローバル研究統括幹部会メンバー、再生医療疾患領域長、日本研究部門長、SVP class)
- 2007年7月 日本シエーリングとバイエル薬品の合併完了に伴い、バイエル薬品(株) 執行役員 神戸リサーチセンター長
- 2007年12月 リサーチセンターならびに再生医療部門閉鎖に伴いバイエル薬品退職
- 2008年1月 Kleiner Perkins Caufield & Byers の支援を得て iZumi Bio Inc.を設立し Chief Scientific Officer 執行役員最高科学責任者を務める
- 2008年8月 特許ならびに技術移管完了に伴い iZumi Bio Inc.退職
- 2008年9月 ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー
- 経済産業省 バイオタスクフォース委員会 委員(2009年度)
 - 経済産業省 N E D O 創薬診断戦略調査委員会委員(2009年度)
 - 経済産業省 N E D O 再生医療戦略調査委員会委員長(2010年度)
 - J S T C R D S 免疫、がん、発生・再生分野統合分科会委員(2010年度)
 - J S T C R D S 恒常性維持機構の解明研究委員(2010年度)
 - 理化学研究所 特別顧問 研究戦略会議委員(2011年から)
 - J S T C R D S 特任フェロー 再生医療担当(2014年3月末まで)
 - 文部科学省 革新的イノベーション創出プログラム 神戸トライアル拠点 拠点長(2013年11月から2015年3月まで)
 - 理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラム 副プログラムディレクター(2016年4月から)
 - 株式会社ミルケア ファウンダー & アドバイザー(2016年5月から)